

ナイジェリア国
ヨベ州地方給水・衛生改善プロジェクト
予備調査報告書

平成18年10月
(2006年)

独立行政法人国際協力機構

| |
|--------|
| 無償 |
| JR |
| 06-192 |

序文

日本国政府は、ナイジェリア国政府の要請に基づき、同国のヨベ州地方給水・衛生改善プロジェクトにかかる予備調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施しました。

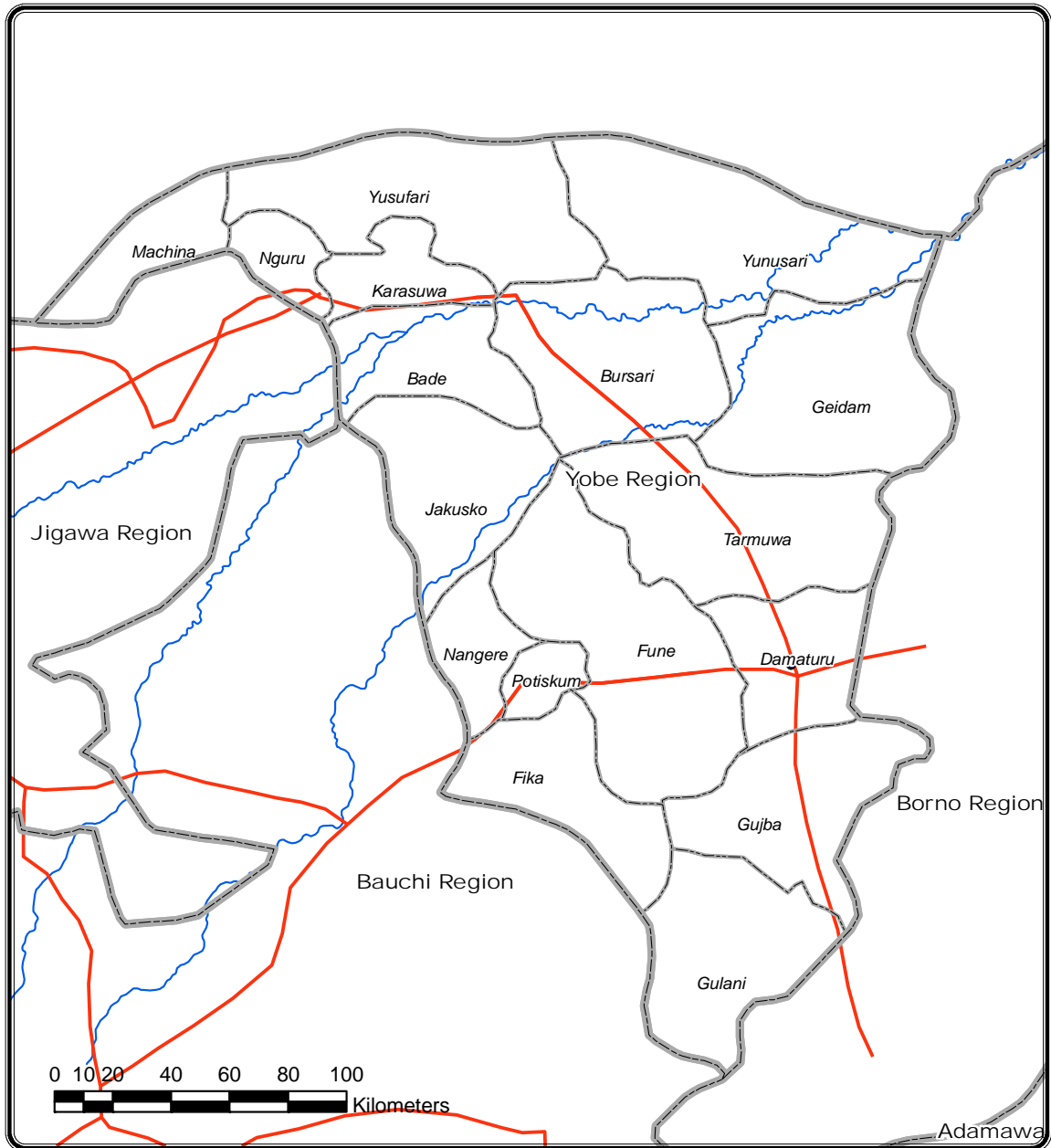
当機構は、平成18年7月25日から平成18年8月18日まで予備調査団を現地に派遣しました。

この報告書が、今後予定される基本設計調査の実施、その他関係者の参考として活用されれば幸いです。

最後に、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成18年10月

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部
部長 中川 和夫



調査位置図

ヨベ州の既存の給水施設(1)



Potiskum 市の動力式深井戸、井戸深度 100m、地下水位=24m、揚水量 10ℓ/sec。



Fune 郡、Gununu 村の掘抜き井戸。かつてはハンドポンプが据え付けられていたが、1人しか使用できないので住民が撤去した。



Fune 郡、Garin Bengel 村のハンドポンプ深井戸。井戸深度 48m、地下水位 15m。



ナイジェリアにおいて Cement Well と呼ばれている井戸。ヨベ州では安全な水として給水率にカウントされている。



水を運ぶ少女達
(ヨベ州北部 Yusufari LGA の Mai Malari 村)



Bade LGA の Gashua の水売り人。値段は 5～10 Naira/20 リットル。水源からの距離によること。

ヨベ州の既存の給水施設(2)



村落部における公共水栓給水施設の水源井戸と高架タンク (Yusufari LGA の Mai Malari 村)。LGA が維持管理を担当している。



Bade LGA Gashua 市のハンドポンプ設置井戸。直ぐそば (写真右下) に配管が来ているが、水は供給されていない。

RUWASA 保有資機材(1)



RUWASA 所有 Maz 社(ロシア製)車両搭載型掘削機。1993 年購入。ロシア製のためスペアパーツの入手が困難である。一旦故障すると修理に時間を要する。予備調査時も故障のため 2 週間ほど工程が遅れていた。



RUWASA 所有の Maz 社製車両搭載型掘削機。広い作業スペースが必要。



RUWASA 所有 Atlas Copco 社(スウェーデン製)の車両搭載型掘削機。1978 年購入。老朽化が激しく油圧式のためスペアパーツの入手が困難であることから工程管理が困難である。



Ingasor Rand のコンプレッサー。使用不可能。かなり前に他省が購入したもの入手。RUWASA 事務所敷地内に保管されている。